

カリキュラム教科別内容（一般課程）－1

教科名	内容	備考
視覚障害者（児）福祉の制度とサービス	<ul style="list-style-type: none"> ・障害福祉の背景と動向 ・障害福祉の制度とサービス ・視覚障害の概念と定義 ・視覚障害者の現状 ・視覚障害者の移動支援制度の変遷 ・移動支援と同行援護 ・移動に関係する制度 	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚障害者（児）福祉の制度とサービスの種類、役割、内容を理解させる。 ・障害の概念、現状、障害者福祉の基本理念を理解させる。
同行援護の制度と従業者の業務Ⅰ	<ul style="list-style-type: none"> ・同行援護概論 ・同行援護従業者の職業倫理 ・同行援護の制度 	<ul style="list-style-type: none"> ・同行援護制度の概要と成り立ちを理解させる。 ・同行援護従事者の職業倫理や意義について理解させる。
同行援護の制度と従業者の業務Ⅱ	<ul style="list-style-type: none"> ・同行援護制度の利用 ・同行援護従業者の業務 ・リスクマネジメント（緊急対応） ・実務上の留意点 	<ul style="list-style-type: none"> ・制度利用の方法。 ・従業者としての業務を理解させる。 ・実務上のリスクへの対応や実務上の留意点。
障害・疾病の理解Ⅰ	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚障害者についての理解 ・視覚障害者の実態とニーズ ・「見え」の構造 ・視覚障害の原因疾病と症状 	<ul style="list-style-type: none"> ・全盲と弱視の違い、疾病による見え方の違いなどを代表的な病気を例に挙げて理解させる。 ・実態とニーズの理解。
障害・疾病の理解Ⅱ	<ul style="list-style-type: none"> ・ロービジョングラス体験 ・同行援護の留意点 	<ul style="list-style-type: none"> ・ロービジョングラスなどの機具を使用して実体験として理解させる。 ・眼疾患の留意点や実際の活動中に起こりえる事例を交えて対処の仕方を理解させる。
障害者（児）の心理	<ul style="list-style-type: none"> ・先天性視覚障害者の心理 ・中途視覚障害者の心理 	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚障害者（児）の心理に対する理解を深め、心理的援助のあり方について理解させる。 ・当事者と歩行訓練士の話を15分程にまとめて話してもらう。 ・20分程度テキストで講義する。
情報支援と情報提供Ⅰ	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉による情報提供の基礎 ・移動中の口頭による情報支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・移動中に必要な情報支援、情報提供の基礎を理解させる。 ・視覚情報を言葉に置き換える訓練。

カリキュラム教科別内容（一般課程）－2

教科名	内容	備考
情報提供と情報支援Ⅱ	<ul style="list-style-type: none"> ・状況や場面別での情報提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・場面別での情報提供の仕方を理解させる。 ・実技を交えた上で学習させる。
代読・代筆の基礎知識Ⅰ	<ul style="list-style-type: none"> ・代読 ・代筆 ・代読、代筆演習 	<ul style="list-style-type: none"> ・代読、代筆の必要性について理解させる。 ・演習形式で代読・代筆の仕方を理解させる。
代読・代筆の基礎知識Ⅱ	<ul style="list-style-type: none"> ・点字、音訳の基礎 ・情報支援機器の種類 ・自ら署名・押印する方法など 	<ul style="list-style-type: none"> ・点字の基礎。留意点。 ・情報機器の把握。 ・留意点を講義し、具体的に支援方法を理解させる。
同行援護の基礎知識Ⅰ	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な考え方 ・視覚障害者への接し方 ・同行援護の留意点 	<ul style="list-style-type: none"> ・同行援護サービスを提供する上での基本的な考え方を理解させる。 ・サービス提供の意義や心構えなどを理解させる。 ・サービス提供者としての相応しい接し方や言動を理解させる。
同行援護の基礎知識Ⅱ	<ul style="list-style-type: none"> ・歩行に関する舗装具・用具の知識 ・日常生活動作に関する用具の知識 ・環境と移動に伴う機器 	<ul style="list-style-type: none"> ・用具の知識の習得。
基本技能Ⅰ	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶から基本姿勢まで ・基本姿勢と留意点 ・してはいけないこと 	<ul style="list-style-type: none"> ・初対面での挨拶や留意点。 ・サービス提供開始時に留意する点。
基本技能Ⅱ	<ul style="list-style-type: none"> ・歩行、曲がる ・狭い場所の通過 ・ドアの通過 	<ul style="list-style-type: none"> ・アイマスクで恐怖心を植え付けないように時間をかける。 ・物がせり出している場合や一人分しか幅のない場合での通過の練習。 ・部屋のドアを使用しての練習。
基本技能Ⅲ	<ul style="list-style-type: none"> ・椅子への誘導 ・段差、階段 ・交通機関の利用の基本 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な誘導法の習得。 ・講演会での椅子の誘導やテーブルのある席への誘導。又、ソファや背もたれのない椅子の場合を想定しての練習。 ・小さい段差や大きい段差、階段での誘導法を練習する。 ・バス、電車の利用法。

カリキュラム教科別内容（一般課程）－3

教科名	内容	備考
基本技能Ⅳ	<ul style="list-style-type: none"> ・総合演習 	<ul style="list-style-type: none"> ・屋内での総合的な演習。 ・ふくふくプラザの利用を想定しての出発からエレベーターや階段の利用、ドアの通過から席への誘導への演習。
応用技能Ⅰ	<ul style="list-style-type: none"> ・食事 	<ul style="list-style-type: none"> ・アイマスクを付けて食事する。 ・二人一組で体験する。 ・食事介助や情報提供の練習。
応用技能Ⅱ	<ul style="list-style-type: none"> ・エレベーター ・車の乗降 ・トイレ ・車いす利用の視覚障害者への対応 ・様々なドア 	<ul style="list-style-type: none"> ・ふくふく内で実習する。 ・自動車への乗降時の誘導。 ・身障者トイレや通常のトイレでの誘導方法の練習。 ・車椅子を使用しての実習。 ・引き戸、重い扉や自動ドアなどの想定されるドアを通過する実習。
応用技能Ⅲ	<ul style="list-style-type: none"> ・環境に応じた歩行 ・様々な階段 ・エスカレーター 	<ul style="list-style-type: none"> ・応用的な技術の習得。 ・螺旋階段や段差の幅が変わる階段などの実習。
応用技能Ⅳ	<ul style="list-style-type: none"> ・総合演習 	<ul style="list-style-type: none"> ・屋外での総合演習 ・天神の中を誘導しながら、店舗での買物や人通りが多い道での移動、実際に想定される状況での演習。